



ひすい

糸魚川市立ひすいの里総合学校

学校だより 5月号 (No.2)

令和2年5月7日発行

臨時休校が明けて

4月25日(土)～5月6日(水)までの12日間に及ぶ臨時休校が明けました。学校に主役の子どもたちが戻り、職員一同ほっと胸をなで下ろしているところです。幸い、糸魚川市では新型コロナウイルスの感染者が出ることはなく、予定どおり本日、学校を再開することができました。ご家族の皆様はご健勝でしょうか。休校の期間、検温によるお子さんの健康観察、手洗いの励行やマスク着用などの感染予防に取り組んでいただき、大変感謝しております。

新型コロナウイルスは下火になった訳ではありません。日本全国を対象とした緊急事態宣言も5月末まで延長されました。身近なところに新型コロナウイルスは潜んでいるという危機意識をもって日々の生活を送りましょう。学校でもこれまで同様に、感染予防の取組を進め、3密(密閉・密集・密接)の環境を極力作らないようにして、子どもたちの健康維持に努めていきたいと思っております。



ところで、休校期間中の学習保障のために、インターネットを利用して学校と家庭を結んで学習を進めたり、メッセージを届けたりするという取組が一部で行われています。先日、糸魚川市教育委員会から依頼があり、学校連絡メールで、ご家庭の通信環境の調査をさせていただいているところです。そこには、子どもたちを一堂に会することをせず感染症の拡大させない、その一方で学習活動を家庭で進めるということを実現させたい意図があります。

実は、この取組の根っこには国が進める「GIGAスクール構想」があります。GIGAスクール構想とは、今年度から義務教育を受ける児童生徒のために、1人1台の学習者用PCと高速ネットワーク環境などを整備する5年間の計画です。その目的は「情報活用能力の育成」や「ICTを活用した学習活動の充実」にあります。今回の家庭と学校をインターネットで結んで学習するなどの取組は一つの姿であり、この時期に取り上げられたために新型コロナウイルス感染拡大防止のために思われがちですが、今年度から国が進めようとしている施策なのです。

では、ひすいの里総合学校の現状はどうかというと、子どもたちが使用するPCやタブレットなどの情報機器は未整備で、これから5年をかけて備えていくこととなります。今後、機材が入れば、子どもたちの学習活動に取り入れ、生活の中で活用できる力を育てていきたいと考えています。



令和2年度 ひすいの里総合学校のスタッフ

級外	校長	本間 勲	中学部	学部主事	上原 りか
	教頭	飯田 貴裕		1年担任	神喰由紀子
	教務主任	七澤 完		2/3年担任	高橋 春生
	主事	清水 千聖		中全副任	金澤 薫
	養護教諭	歌川 千春			
小学部	学部主事	池滝 陽子	重複部	小1/2/4年担任	阿部 幸一
	1年担任	北澤 夕香		小6年担任	渡邊 恵子
	2年担任	本間 彩子		小全副任	梨本祐美子
	3年担任	横浜 有希	教育補助員	中3年担任	宮谷 栄子
	4年担任	松沢 美保		小学部	西田 敦子
	5年担任	古川 瞳		小学部	栖原 幸子
	6年担任	齊藤 直美		中学部	佐藤 邦子
		重複部	石黒 一美		
学校看護師	渡邊 貴代	中本 希望	横澤 涼子		

「修学旅行」の再検討について

4月段階で、6月に計画していた小学部の修学旅行（1泊2日）は9月に延期して実施、中学部は計画どおり9月末から10月初めで実施としています。しかし、新型コロナウイルスの全国的な感染の広がりや収束を見通せない状況から、小学部（富山方面）、中学部（東京方面）の修学旅行について再検討することにしました。

現在のところ、人との関わりを極力避けることが新型コロナウイルス感染予防の最も効果的な方法です。修学旅行の目的が日頃の生活圏から離れ、人とふれあい、見学や体験を通して知識や経験等を広げることにあることから、実施自体が困難であると言えます。一方で、子どもたちにとっては家族の力を借りずに自分が身に付けた力を発揮しながら、友達や先生と一緒に活動することはとても価値のあることです。また、それぞれ小学部・中学部で一度きりの行事であり、子どもたちが楽しみにしている他に代えがたい活動です。

そのため、子どもたちの健康と安全を第一に考えつつ、教育的価値や子どもたちの心情、新型コロナウイルスの感染状況や医療分野の進展等を総合的に勘案して、実施の可否も含めて夏休みに入るまでに対応を決定し、関係の保護者の皆様にお知らせしたいと考えています。修学旅行、お子さんの参加等についてお考えがありましたら、担任に直接お話しください。

＜修学旅行の実施を前提とした検討事項＞

- ・年間の教育活動を考慮した実施期日の延期
- ・訪問先、活動内容の変更
- ・新型コロナウイルス感染の予防の手立て
- ・病院等の受け入れ状況
- ・泊を伴わない日帰り修学旅行
- ・旅行経費
- ・その他

